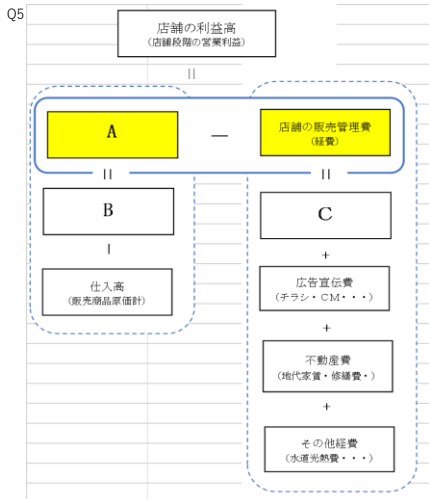


問題番号	問題文	選択肢 1	選択肢 2	選択肢 3
1	904年に誕生した日本最初の百貨店を次の中から選べ。 三越百貨店	伊勢丹百貨店	そごう百貨店	
2	次の空欄に当てはまるものを選べ。「アメリカでは1960年代にはモータリゼーションの発展で多くの( )が生まれた。」 ショッピングセンター	スーパーマーケット	コンビニエンス・ストア	
3	次の空欄に当てはまるものを選べ。「インターネットに代表されるテクノロジーによって、アマゾン・ドット・コムを始めとする( )が急速に成長している。」 無人配送	無人店舗	eコマース	
4	オムニチャネル化の説明で正しいものを選べ。 ネットビジネスで業容を拡大した企業が実店舗を持ち、両方の分野でビジネスを行うことを指す。一方で、最初から実店舗を持つ企業(例えばスーパーマーケット企業など)がネットビジネスに進出することは含まれない	インターネットを利用した販売方法で、自宅を含む指定の場所に商品を届けるサービスと、インターネットで注文した商品を店舗で受け取るBOPIS(Buy Online Pickup In Store)サービス	当初はネットで通信販売の一種と見なされてきたインターネットを利用した商品を販売する企業が、実店舗の運用を行い、一方で実店舗を持つ企業が、ネット販売に進出し、店舗とネットの項目がなくなってきたこと	
5	次の図は、店舗の収益構造の概要を示したものである。A、B、Cに入るものはどれか A、売上総利益(粗利益高) B、店舗の売上高(販売商品売価合計) C、人件費(給与・賞与・賃金・・・)	A、店舗の売上高(販売商品売価合計) B、売上総利益(粗利益高) C、本部経費	A、店舗の売上高(販売商品売価合計) B、売上総利益(粗利益高) C、人件費(給与・賞与・賃金・・・)	
6	顧客は小売業の価値として「便利さ」「経済性」「エンジョイ」「安全・安心」を求めている。それでは「自分が買い物したいときに店が開いている。」は、どの価値に当てはまるか。 経済性	エンジョイ	便利さ	
7	サプライ・チェーン・マネジメントの説明で正しいものを選べ。 製造工場から物流センターを経由して店舗に商品が効率よく誤りなく届けられる管理活動のこと。	効率的に商品を店舗に供給するために小売業自社で商品を保管し配送するシステムを管理すること。	生産段階の原料調達から商品までの物流全体の効率化を実現するための活動のこと。	
8	発注データに基づいて倉庫の棚など保管場所から、指定された商品と数量を取り出す作業を何というか。 ピッキング作業	ステージング作業	シェルビング作業	
9	商品の仕入、品揃え、プレゼンテーション、販売価格、在庫調整など、粗利益高や品目当たりの販売量など商品に関する数値責任を持つ人々の職能を何と呼ぶか。 オペレーション・ライン	クリエイティブ・ライン	ライン・スタッフ	
10	次の表に示された損益計算書の例(一部)の空欄の値はいくらか。 (イ) 250 (ロ) 200	(イ) 300 (ロ) 280	(イ) 300 (ロ) 250	
11	次の表に示された損益計算書の例(一部)の空欄の値はいくらか。 (イ) 1250 (ロ) 250	(イ) 1350 (ロ) 200	(イ) 1150 (ロ) 550	
12	以下の式の空欄に入るものはなにか。 売上高 = ( ) × 客単価 平均買上点数	客数	購買商品平均単価	
13	売場販売効率についての説明で正しいものはどれか。 売場販売効率が高いほど利益が増えるので、常に売場販売効率を高めるための施策を実行すべきである。	売場販売効率とは、店舗の売上高を店舗の面積全部で除したものをいう。	売場販売効率が高いほど、設備不動産コストはほぼ固定的なため、相対的に売上に対する比率が下がり、利益の向上が見込まれる。	
14	商品回転率を求める式で正しいものはどれか。 期中の売上原価合計 ÷ 期中の平均原価額	期中の商品売上高(売価) ÷ 期中の平均商品在庫高(原価)	期中の商品売上個数 ÷ 期首在庫個数	
15	人時生産性を求める正しく説明しているものはどれか。 売上高を総人時で除した(割った)もの	粗利益高を総人時で除した(割った)もの	営業利益に占める総人件費の比率	
16	不明ロス数を求める正しい数式はどれか。 期末実在庫数 + 期中販売数 - 期中入荷数 - 期首実在庫数	期首実在庫数 + 期中入荷数 - 期中販売数 - 期末実在庫数	あるべき期末の帳簿在庫数 + 期中販売数 - 期末実在庫数	
17	次の表で示された(イ)期中売上高(原価)を求めよ。 5000	4800	4500	
18	次の表で示された(ロ)期中原価率を求めよ。 75%	80%	85%	
19	次の表で示された(ハ)粗利益高を求めよ。 1200	1250	1300	
20	次の表で示された(ニ)粗利益率を求めよ。 25%	30%	32%	



Q10

項目	数値
売上高	950
売上原価	650
売上総利益(粗利益高)	(イ)
販管費	(ロ)
営業利益	50

Q11

項目	数値
売上高	(イ)
売上原価	900
売上総利益(粗利益高)	450
販管費	250
営業利益	(ロ)

Q17

項目	数値
期首在庫額(原価)	2100
期中仕入額(原価)	4900
期中売上高(売価)	6000
期末在庫額(売価)	2400
期中売上高(原価)	(イ)
期中原価率	?
粗利益高	?
粗利益率	?

Q18

項目	数値
期首在庫額(原価)	1000
期中仕入額(原価)	3800
期中売上高(売価)	5200
期末在庫額(売価)	1200
期中売上高(原価)	?
期中原価率	(ロ)
粗利益高	?
粗利益率	?

Q19

項目	数値
期首在庫額(原価)	600
期中仕入額(原価)	3900
期中売上高(売価)	5000
期末在庫額(売価)	1000
期中売上高(原価)	?
期中原価率	?
粗利益高	(ハ)
粗利益率	?

Q20

項目	数値
期首在庫額(原価)	850
期中仕入額(原価)	2150
期中売上高(売価)	2800
期末在庫額(売価)	1200
期中売上高(原価)	?
期中原価率	?
粗利益高	?
粗利益率	(ニ)